

1 議長挨拶

2 経過報告

6月14日 HP ふらのフォーラム2016公式案内アップ

6月14日 第73回連携会議

6月28日 HP 石狩市公立小中学校の概要アップ
(2011年度の分から閲覧可能となっています)

3 協議題1 石教研2次集会レポート作成について ～別紙1
(研究G提案)

協議題2 2016年度「保護者負担調査」について ～別紙2

協議題3 「平成29年度石狩市教育予算要望書」に向けた具体的取組について ～別紙3
(予算要望G提案)

4 実践交流

研究Gより実務実践シートの発表

・石狩中 村井さん

・花川南中 斎藤さん

・厚田小 富永さん

5 連絡事項

石狩市公立小中学校の概要をHPにアップしています。各自ご確認の上訂正等ありましたら事務局まで連絡のほどよろしくお願ひします。

<別紙1> 石教研2次研究協議会レポート作成について

9月 初旬 : レポート原案作成 完成 (担当: 佐藤)

中旬 : 研究G会実施

9月23日 : 定例会にて全体検討

: 丁合作業

10月 3日 : レポート提出

＜別紙2＞ 2016年度「保護者負担調査」について

1. 保護者負担調査の意義

保護者負担調査については、各校の現状を知ることで自校の保護者負担軽減などのとりくみに活かすなどの効果があり、「学校財政確立のために活用できる資料をめざす（ひいては保護者負担軽減につながる）」という観点から継続して調査することが必要です。

2. 調査の観点

- (1) 保護者負担の状況を各校比較検討することにより、保護者負担軽減策のヒントを探る。
- (2) 学校徴収金と公費財政の関係を比較検討する資料として活用する。
- (3) 予算要望書の参考資料として活用する。

連携会議では、毎年保護者負担調査を実施しています。この調査の目的について第2回連携会議(09/6/16)では次のように論点整理を行いました。(当時の名称は「徴収金調査」)

石狩市連携会議では、'07年に徴収金調査を行いました。調査結果の分析をするに至らず、調査の利用についても残念ながら進展を見ませんでした。今回はその反省を踏まえ、第1回連携会議で提案したとおり、分析結果を予算要望委員会に反映するとともに、白書づくりの資料としていきたいと思いをします。

学校徴収金は、今日こそ「学校会計の適切な処理」という観点で語られていますが、徴収金の内容や教育効果との関わり、保護者負担のあり方等については校内では大きな論議が巻き起こることなく長年にわたって慣行が続いているのが現状と推察されます。しかし、事務職員の間では①義務教育無償の原則に則り、全ての教育費は公費でまかなわれるべきであること、②従って当面、保護者負担を軽減するべく公費での予算措置を求めていくこと、との主な柱により実践がすすめられてきました。また、とりわけ「小泉構造改革」と称された政府方針により結果として世帯間の経済格差が生じ、そのことが子どもの学習機会の格差となって表出しているとの世論が高まっていること、加えて、OECDのPISSA調査をとおして、義務教育はもとより高等教育に至るまでほぼ教育費が無償であるフィンランドが学力世界一となった事実から、公費による教育投資の重要性がよりクローズアップされ始めたことなど、教育費の公費負担に係わる論議は大変重要になっています。

これらの観点を踏まえ連携会議では、各学校の徴収金の実情から課題整理を行うとともに、他校のとりくみを参考に、各校においても徴収金に係わる検討がなされるよう交流を行うことを目的として「決算予算調査」を行いました。その結果を予算要望委員会に反映するとともに今後の各校のとりくみに生かしていきたいと思いをします。

この論点整理にもあるとおり、保護者負担調査の主たる目的は「私費負担の公費化」であり、保護者負担と公費負担の実態把握・比較検討を通して予算要求につなげるための保護者負担調査であるといえます。

3. 調査項目について

今年度も、昨年度に続き例年通りの保護者負担軽減調査及び保護者負担経費と公費負担経費の対比表を作成し、各学校の比較を継続して取り組みます。別紙集計用紙のとおり。

小学校に関する新1年生入学時集金額の欄を追加しています。記入漏れの無いようにお願いします。また、特記事項の記入欄を追加しました。前年度からの額の変更なども分かる範囲で記入願えればと思います。

4. 具体的作業は次のとおりです。

保護者負担軽減調査について

- ・別紙集計用紙に記載する方法で調査する。変更が無い場合は、送付済みの用紙を活用願います。」
- ・集金に関する案内文書を出来る限り収集して提出してください。

5. 調査期間

8月26日(金)まで

2016年度 保護者負担調査集計用紙

学校名【 学校】	備考	普通 1年	普通 2年	普通 3年	普通 4年	普通 5年	普通 6年	特支 1年	特支 2年	特支 3年	特支 4年	特支 5年	特支 6年	特記事項
(1) 日常の授業・学習に関わるもの														
① ワークブック、ドリル、副読本等														
② 市販テスト														
③ 実験・実習材料(小学校)														
④ 実験・実習材料(中学校:理科)														
⑤ 実験・実習材料(中学校:美術)														
⑥ 実験・実習材料(中学校:技家)														
⑦ 実験・実習材料(中学校:家庭科)														
⑧ 実験・実習材料(中学校:書写)														
⑨ 実験・実習材料(中学校:音楽)														
⑩ 実験・実習材料(中学校:)														
⑪ 実験・実習材料(中学校:)														
⑫ 実験・実習材料(中学校:)														
⑬ 実験・実習材料(中学校:)														
⑭ 新1年生入学時集金額	入学時に集める金額を記入してください													
⑮ その他														
合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(2) 校外活動に関わるもの														
① 修学旅行費	未決定の場合は昨年度金額													
② 宿泊学習費	未決定の場合は昨年度金額													
③ 遠足・課外学習経費	未決定の場合は昨年度金額													
④ スキー学習費	未決定の場合は昨年度金額													
⑤ 芸術鑑賞費	未決定の場合は昨年度金額													
⑥ 職業体験学習費	個々の金額に相違がある場合は平均額													
⑦ その他														
合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(3) その他の活動に関わるもの														
① 児童・生徒会費														
② 学年・学級費	教材費が含まれている場合は、 教材費以外の金額のみ記載													
③ 学年・学級写真														
④ 卒業アルバム代	未決定の場合は昨年度金額													
⑤ 進路指導費														
⑥ その他(生徒手帳代)														
⑦ その他(名札代)														
⑧ その他(名前ゴム印)														
⑨ その他()														
合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(4) 被服に関わるもの														
① 入学時にそろえるべき制服(男)														
② 入学時にそろえるべき制服(女)														
③ 体操着・スポーツ帽・上靴など														
④ その他														
合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(5) 他団体会計														
① PTA会費	世帯一人目の会費額													
② PTA会費	世帯二人目の会費額が違えばその金額													
③ PTA安全互助会														
④ 部活動・少年団会費	全世帯を対象としている場合の年会費													
⑤ 部活動・少年団会費	世帯二人目の会費額が違えばその金額													
⑥ 部活動・少年団会費	加入金などを集める場合その金額													
⑦ スポーツ振興センター掛金		460	460	460	460	460	460	460	460	460	460	460	460	
⑧ 同意会費														
⑨ その他														
合計		460	460	460	460	460	460	460	460	460	460	460	460	
総計		460	460	460	460	460	460	460	460	460	460	460	460	

〈別紙3〉「平成29年度 石狩市教育予算要望書」作成に向けた具体的取り組みについて

前回連携会議(6/14)において「具体的取り組みの方向性について(骨子案)」を提示し意見をいただくとともに予算グループ打ち合わせをもって具体的取り組み内容(案)を作成したのでご検討願います。

1. 予算要望書作成に向けた作業日程について

(1) 取り組み内容の確認	7月 1日(連携会議)
(2) 市予算要望委員会	7月 4日
(3) 調査期間	7月 4日～7月11日
(4) 要望書の全体検討(夏季研修会)	7月29日(予定)
(5) 提出資料の最終確認	9月 2日(連携会議)
(6) 予算要望委員会への提出	9月 日(連携会議終了後)

2. 具体的調査内容とすすめ方

(1) 各学校における印刷関連の前年度実績を数値化します。

(従来は学校配分予算の消耗品費に対する印刷関連費用の割合を示すことによって、印刷関連費用が消耗品費を逼迫させているという観点から配分増額を要望してきました。ただ一昨年度より配分予算の配分調整を行っているため、単純に消耗品費が不足しているという働きかけをすることは難しくなったが、今年度プリンタが更新されトナーなどの価格も従来のもものと異なり、消耗品費に占める割合も変わってくるのが予想されることから、引き続き調査を行っていきます。)

- i) プリンタインク・プリンタトナーの費用算出
- ii) レンタルプリンタ年間利用料の算出
- iii) 印刷機インク・マスターの費用算出
- iv) コピー使用料の算出
- v) 用紙代の費用算出

以上の合計により、印刷関連費用の合計を算出し、経年変化を一覧表にして、消耗品費に占める印刷経費の実情を明らかにします。

※グループ会議では、「新しいプリンタによる経費の変動を調査してはどうか」との意見が出されましたが、レンタルプリンタ導入校が増えるなど印刷環境の変化もあるので、印刷経費の変動については総経費の変化について見ていくこととし、レンタルプリンタの経費については導入状況の調査を兼ねて項目を設けることとしました。

(2) いわゆる「教材費」の保護者負担の調査を行い資料化し、公費化要望とする資料とします。昨年までは、公費化を要望する内容は学校の判断としていましたが、今年度はいわゆる「教材費」の全額を公費化要望の対象とします。

(この調査は長年行ってきており、どの学校も各教科等で保護者負担が大きくなっているのが現実だと思います。保護者負担軽減の観点からも引き続き調査を行い、公費措置してもらおうための働きかけをしていきます。)

※別シート「H27 資料」を修正する形で回答してください。

※グループ会議では、「教育課程の単元ごとに必要経費を洗い出すことによって、より具体的に何にどれくらいの費用が必要か、働きかけることができるのではないか。」との意見が出されました。このことは、財政財務活動を進める上で大変重要なことです。ただし、実際に取り組むとなると作業が膨大になることが予想され、各校の足並みが揃わないことも考えられるので、今後の検討課題とします。

(3) スキー学習バス代について、2015年調査(66回会議)と連動した形で調査を実施し、最低全校1回分の全額公費負担化を要望します。

(昨年度の連携会議の中で、各種行事に係るバス代の補助を要望してほしいとの声があり、連携会議で実態調査を行ったところ、補助が1回分にも足りない現状で保護者負担をしている学校が多数あり、さらに回数が多ければ当然その負担額が大きくなることもこの調査で明らかにな

りました。これらのことから保護者負担軽減の観点からも調査を行い、全校1回分の全額要望を行っていきます。)

※前年度と一昨年度2年分のバス1台当たりの経費(料金)を示し比較してみてもというご意見がありました。料金は年々値上がりしていると思われるので、要望として働きかける資料になると思われますが、今年度については新たな項目も含め調査項目が増えているので、調査の実施等については冬季研でのテーマとし、要望書へ盛り込んでいくかなども検討していくこととします。

(4) 中学校ブラスバンドの楽器購入5カ年計画については、今年度の成果(特別配分の実現)を踏まえ継続します。なお、現有楽器の総額の10%を修繕料として要望します。

(ブラスバンドに関する楽器について高価なものが多く、教材備品で購入することは可能だが、その予算のほとんどを楽器が占めることになってしまい、他の必要な教材備品を購入することが不可能になるため、購入・更新することができていない状況でした。楽器の修繕料・調整料の増額として要望することを目的として2014年度よりこの調査を始め、今年度初めて花川北中、樽川中に楽器の追加配分が実現しました(残予算で花川中にも一部購入予定)。今後も継続して配分してもらえよう、引き続き調査を行っていきます。)

※別シート「楽器整備5カ年計画」を修正する形で回答してください。

(5) 学校図書館(学校図書館司書配置校)整備に係る消耗品などの必要な経費について、今年度の成果を踏まえ継続します。なお、書架等の関連備品については当面学校ランキング表での対応とします(バーコードに係る費用は現在図書館消耗品費で支出できないということです。この調査では実際にかかる経費として計上してください)。

(ここ数年計画的に図書館司書が配置されるようになり、特別予算等により蔵書も充実してきているが、その業務に係る予算付けがなく、配分されている消耗品費で支出しなければならず、通常の予算を逼迫していたことから、学校図書館整備に係る消耗品などの必要な経費の要望をしようとして昨年度よりこの調査を始め、今年度は図書館司書配置校、及び小規模小学校(今年度のみの特別加算)が実現しました。今後も継続して配分してもらえよう、引き続き調査を行っていきます。)

(6) 参考調査として、修学旅行・宿泊学習において、就学援助の補助対象経費以外に保護者負担となった経費を調査し、今後の公費化の取り組みの参考とします。現時点では、この点について調査する観点や展望についての検討が不十分であると判断し、今回は要望事項とはしないこととします。

(予算要望部会の話し合いの中で、修学旅行・宿泊学習の費用において就学援助の補助対象経費にならず、かつ公費でまかなうことが難しいため、保護者に負担させている経費があることがわかった(観光雑誌など)。この調査を行うことによって今後保護者負担軽減の観点からの要望をするとともに、それらが本当に必要な経費(必要なもの、必要な数量 使い勝手だけで徴収していないかなど)であるかどうかの精査も行っていけるとよいのかなと思います。)

(7) 「市内基礎データ」に基づき、過去6年間の学校配分予算の動向について資料化し、要望事項の参考資料とします。この件については各校の回答の必要はありません。具体的には以下のような分析を行います。

・児童生徒一人当たりの配分予算の推移の予算要望資料としての活用について

石狩市学校間連携会議では2011年度から毎年市内基礎データ(児童生徒数や学級数、教職員数や予算各配分費目などを記載)を各校より提出いただいているところです。今回の予算要望では上記データ活用し、石狩市教育予算における児童生徒一人当たりのを提示し予算要望資料として生かしたいと考えています。このことにより、一人当たりの推移の把握はもちろんのこと、市教委担当者や学校当該職員へ提示する意義も少なからずあり、又、保護者徴収金との比較(公費私費)する事ができ、より良い予算増額要望資料になるのではないかと考えます。

	(千円)				
	2012(H24)年度	2013(H25)年度	2014(H25)年度	2015(H26)年度	2016(H27)年度
石狩市小学校合計	1,267	1,309	1,381	1,295	1,357
石狩市中学校合計	1,941	1,813	1,863	1,721	1,859
小中平均	1,486	1,474	1,539	1,436	1,524
※2011(H23)年度は「市内小中学校の概要」に「学校奨励プログラム～」及び「外部指導者活用事業～」が記載されていないので除いた。					

3. 調査集約用紙について 別紙のとおり

4. 調査集約について

別紙要望事項集約用紙に回答して期日 (7/11) までに花川北中学校(寺下)まで送信してください。
集約担当者(集約担当者には寺下からデータを送ります)は以下の通りです。

- ・学校配分予算の推移・・・品川(南小)
- ・印刷関連費調査・・・中鉢(生振)
- ・各教科実験材料費保護者負担調査・・・寺下(北中)
- ・スキー学習バス代調査・・・岡田(樽川)
- ・図書館関係消耗品調査・・・沼田(双葉)
- ・楽器整備5カ年計画・・・後藤(浜中)
- ・就学援助補助対象経費以外の経費調査・・・常陸・飯島(花中)